

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

部局名	企画政策部	部局長名	永田 一廣
-----	-------	------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	1 2 . 2 億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		4 5 人	1 8 人	6 3 人

①部局の使命 (組織の存在価値)	人口減少、過疎・高齢化の進展等の地域課題に対応した施策・事業を全庁的に立案・推進し、総合計画の「地域力が奏でる都市力の創出」を基本目標とする。 具体的には、平成 24 年度重点項目「ゴールド集落の再生活動支援」「交流人口の増大」等に関連する事業を実施する。 また、持続可能な財政経営基盤を確立するための取組みの一環として、本庁・支所の組織見直し、政策評価制度の導入に着手するほか、財政運営プログラム策定に併せて地域成長戦略や歳出削減策を検討する。	②組織目標像	【施策の目標像】 (1) 定住・交流人口の施策が成果を挙げている。 (2) 市民との共生協働社会が構築されている。 (3) 過疎・高齢化等への適切な施策により、元気な地域となっている。 (4) 広聴広報の機能充実により、開かれた市政となっている。 【組織の目標像】 (1) 市民サービス向上のための改革に果敢に挑戦する職員・職場となっている。 (2) 職員それぞれが説明責任を果たすことができている。 (3) 部内・課内の応援体制等により、市民ニーズや行政課題に迅速・柔軟に対応できる組織となっている。
---------------------	--	--------	--

平成 2 4 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標 (めざそう値)	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況 (年度中間)	⑧年度末の達成状況
地域力創造 【企画政策課】	(1) まちのチカラ創造フォーラムの開催 ・本市のまちづくりを広く市内外にアピール	① 効率を高めるため運営委員会方式により開催 ② 過去 2 回の集大成としての開催内容の検討	○ ① 過去 2 回の課題等を踏まえたテーマを設定 ② 指名型プロポーザル方式により最もテーマに沿った企画を採用	
施策評価 【企画政策課】	(1) 施策評価研修の実施と制度の検討	① 部局長を対象に制度研修を実施 ② 課所長を対象に実務研修を実施 ③ 施策評価の制度設計	○ ① 部局長を対象に制度研修を実施 ② 課所長を対象に実務研修を実施 ③ 残りの施策について評	

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年 度

薩摩川内市

		④ 次期総合計画との連携検討 ⑤ 定住自立圏作業部会での試行		価を実施	
甌島の振興・活性化 【企画政策課】	(1) 国定公園化の推進及び交流人口の増加	① 国定公園化に係る県との協働作業 ② こしきアイランドキャンパス ③ こしきの恵・食の祭典 ④ 全国離島交流中学生野球大会	○	① 県の委託調査機関による現地調査への協力 ② 応募 9 大学中、6 大学を採択・実施 ③ コンクール作品募集 ④ 東京都八丈島での大会に参加	
定住・交流による地域躍動 【企画政策課】	(1) 定住・交流人口の増加 ・定住目標：250 人 ・よかまち・きやんせ倶楽部 新規会員：120 人	① 新規定住補助制度の活用推進による転入促進 ② よかまち・きやんせ倶楽部による情報発信・相談等 ③ 移住セミナー等イベントへの参加 ④ 空き家バンク制度の構築	○	① 定住補助利用転入者数 ・住宅取得補助 40 名 ・リフォーム補助 14 名 ・新幹線補助 10 名 ② 情報発信・相談等を実施 ・倶楽部通信 2 回発行 ・メールマガジン 6 回発行 ・高速道路案内所へのパンフレット掲示広告 1 回 ・問合せ・相談 187 件 ・新規登録会員数 4 名 ③ 移住セミナーへの参加 東京 2 回、大阪 2 回 福岡 1 回 ④ 空き家バンク登録に係る意向確認 宅建協会との協議	

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

市政改革大綱の推進 【行政改革推進課】	(1) 改革アクションプラン年度計画の達成	① 前年度計画の進捗調査・公表 ② 年度計画の策定・公表 ③ 上半期進捗状況の調査・公表	○	① 前年度計画の進捗状況報告・公表(6月26日) ② 年度計画の策定・公表(6月26日)	
将来の本庁・支所の在り方 【行政改革推進課】	(1) スピーディで質の高い行政サービスを提供できる組織の構築	① 本庁・支所再編に向けた組織体制の構築 ② 定員適正化方針の実行	□	① 住民説明会等での意見・課題の整理や条例改正等の所定の手続きに時間を要することから、平成 25 年度からの再編着手を困難と判断 ② 各課への定員ヒアリングを開始	
事務の改善・合理化 【行政改革推進課】	(1) 業務プロセス見直しによるスピーディな行政サービスの提供	① 事務事業外部評価の対象事業選定 ② 事務事業外部評価の実施	○	① 対象事務事業 24 事業選定 ② 事務事業評価（外部評価）を実施（全 6 回）	
地域再生 【コミュニティ課】	(1) 「地域力創造プログラム」の推進 ・ゴールド集落支援の推進	① ゴールド集落活性化事業補助金の活用促進（85 ゴールド集落：4 種の支援事業）	○	① ゴールド集落活性化事業補助金を活用し、集落の活性化を支援	
共生・協働の推進 【コミュニティ課】	(1) 地区コミュニティ協議会等との協働・自立促進	① 地区振興計画掲載事業の支援 ② 自治会未加入者の加入促進 ③ 自治会再編（合併）への対応	○	① 支援対象事業は適宜支援 ② 自治会加入促進懇話会提出の報告書に基づき、自治会加入案内窓口や加入促進強化月間を設け、自治会加入促進策を実践 ③ 自治会再編協議会補助金の交付など、自治会合併に係る協議を支援	

平成24年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

	(2) 特設防犯灯 の設置	① 年次計画により設置 ・平成24年度200基設置	○	① 対象の小中学校・地区コミ等からの設置申請を受け、防犯灯設置工事の発注準備を推進		
	(3) 地区コミセン等の整備	① 青瀬地区コミュニティセンターエアコン設置工事 ② 水引地区コミュニティセンターブロック積補修工事	○	① 建築住宅課へ執行委託済 ② 補修工事完了（8月末）		
	(4) 情報発信の促進	① 市民活動情報サイトの利用促進 ② 各地区コミ等団体への情報発信に向けた研修会の実施	○	① 市民活動情報サイトの運用開始（6月～：1万件を超えるアクセス） ② コミ主事研修会（5月）での説明会や各地域に出向き研修会を実施		
	(5) 市民活動支援	① 市民活動促進補助金交付 ② 市民活動団体等への支援 ③ NPO法人、ボランティア団体等によるネットワークへの支援	○	① 8団体への補助金交付を決定（新規5：継続3） ② 各種情報等の提供 市民活動支援補助金（仮称）創設に向けて準備 ③ 市民活動ネットワーク会議の開催（9月7日）		
生涯学習の推進 【コミュニティ課】	(1) 市民の主体的な 学習活動 の推進	① 生涯学習推進計画掲載事業の実施 ② 出前講座の実施 ③ 生涯学習フェスティバルの開催	○	① 地区コミを中心に実施 ② 地区コミや自治会、PTAを中心に実施 ③ 甌地域 ・10月27日 上甌町開催に向けて準備中 本土地域 ：2月23日・24日開催に向けて準備中		

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

男女共同参画の推進 【コミュニティ課】	(1) 男女共同参画社会実現 に向け た意識の醸成	① 配偶者等からの暴力防止及び 被害者支援に関する計画策定 ② 第4期女性 50 人委員会によ る政策提言の提出 ③ 男女共同参画フォーラムの開 催 ④ 男女共同参画基礎講座の開催	○ ① 支援に向けて計画策定 中 ② 第4期女性 50 人委員会 より市長へ提言提出(9 月 25 日) ③ フォーラム(10月13日) 開催に向けて実行委員会 を開催 ④ 出前講座 12 件実施済 (22 件実施予定)	
基幹システムの安定 運用 【情報政策課】	(1) 安定したシステムの確立	① 齟齬のない仕様の作成・検査、 テストの実施、十分な確認	△ テスト・確認作業の不足に より、手当支給事務のミス が発生	
	(2) 迅速で確実なシステム運用の 確立	① マニュアルやFAQ、体制など の整備	○ 安定したシステム運用の確 立に向け、マニュアル等を 整備済	
情報格差の是正 【情報政策課】	(1) 地上デジタル放送難視聴地域 の解消 (100%)	① 新たな難視聴地区における共 聴対策の早期完了のための呼 びかけの実施	○ ① 10 地区について、国へ の補助金申請書を提出、6 地区について補助金要望 調書を提出 ② 新たに難視聴地区とし て追加指定された地区に ついて、対策手法等の周 知活動を随時実施	
広聴広報の機能充実 【広報室】	(1) まちづくり懇話会 の開催 ・10月までに6地域で開催 (水引中校区及び樋脇、入来、東 郷、祁答院、下甕・鹿島地域)	① 各地区コミの現状・課題を広 聴	○ ① まちづくり懇話会 ・9月末までに5回開催済 ・年度内に、残り1箇所(水 引中校区)を開催予定	

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

	(2) 市政モニター制度の活用	① 市民生活に密着したアンケート調査を実施（4回）	○	① 市民満足度調査に関するアンケートを実施		
⑦年度中間総括	【企画政策課】 「まちのチカラ創造フォーラム」は、最終年度として位置付けている。 過去2回のフォーラムの実績、課題を踏まえ、持続的に成長するための「地域産業発展のヒント」について市民と一緒に考える機会とすべく、開催目的に沿った企画提案を選定し、さらに充実した内容になるよう実行委員会で詳細を議論しながら、より充実したフォーラムの開催を目指している。 - 施策評価は、まず制度への理解と必要性について認識することを念頭に、総合計画の実際の施策を評価する演習を実施しており、指標設定や評価手法についての理解を深化させる必要がある。 - 甕島県立自然公園の国定公園への格上げを目指すため、県による自然資源調査が行われており連携・協力していく。 - ホームページや情報誌等で定住促進の情報発信の充実を図るとともに、定住希望者に対するイベント等に積極的に参加し、さらに関係課と連携して市の魅力をPRしながら、U I J ターン者の増大を目指した事業展開に努める。 【行政改革推進課】 - 事務改善・合理化を行うため、行政改革推進委員会で24件の事務事業外部評価を実施した。評価結果については、今後、次年度以降の予算編成への反映、事務事業の見直し等につなげていく。 - 組織再編方針（案）については、住民説明会やパブリックコメントで寄せられた意見・課題等の整理をしており、引き続き検討していく。 【コミュニティ課】 - ゴールド集落支援職員については4月に配置が完了し、ゴールド集落に対する支援強化につながった。 - ゴールド集落支援事業の説明や助言が例年より早期に実施できたことにより、ゴールド集落自主活動支援補助金の申請が増加している。 - 市民活動情報サイトについては、9月末現在で約13,000件のアクセスがあり、特に関東地方（東京都・神奈川県）からのアクセスが多く、滞在時間も10分を超えている。今後は、NPO法人、ボランティア団体等の活動も紹介していく予定である。 - 薩摩川内市市民活動ネットワーク会議を開催し、NPO法人やボランティア団体等との交流を図るとともに、各種の助成制度など情報提供を行った。 - 女性50人委員会から提出された提言内容について、関係各課へ調査を依頼した。 - 男女共同参画フォーラム開催については、実行委員会でテーマ等を決定し、10月13日に開催予定である。 - 生涯学習ワーキングチームを設置し、生涯学習推進体制の充実・強化を図る方策を検討している。					

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年 度

薩摩川内市

	【情報政策課】 ・地上デジタル放送難視聴地域の解消については、対策の必要な 20 地区（共聴施設の新設 17 地区、既設施設の改修 3 地区）のうち 16 地区の補助金申請及び補助金要望調書を提出した。また、残りの 4 地区についても、今年度中の申請に向けて作業中である。 【広報室】 ・概ね計画どおり、遂行できた。
⑨年度末総括	